

# 令和2年度大仙市緊急経済対策「行動計画」事業実績

## 【地方創生臨時交付金活用事業】

「単位：円」

No.	所管課	款	項	目	事業	事業名称及び事業概要	区分	執行額	財源			①事業の評価 ②事業の課題 ③今後の方向性		
									国県補助金	地方創生臨時交付金	その他		一般財源	
1	総務課	2	1	11	30	<b>特別定額給付金事業費</b> ※基準日に生存していながら申請前に死亡した場合、相続人に10万円に給付 ◆実績:23人(国申請期限の8/7までの死亡者分)	生活支援	2,300,000				2,300,000	①対象者の世帯構成及び死亡のタイミングで国定額給付金の受給の可否が異なることに対する遺族の不平等感の解消につながった。 ②今後、同様の事業を実施する場合は、オンライン申請の導入など申請者の利便性向上を検討する必要がある。 ③本事業は国で実施した特別定額給付金事業で対応できない部分を補う事業であり、国の事業が完了していることから、今後の実施予定はない。	
2	総務課	2	1	11	31	<b>特別定額給付金事務費</b> ◆実績:国申請期限の8/7までの死亡者郵便料6,206円	生活支援	6,206				6,206	同上	
3	総合政策課 まちづくり課	2	1	11	32	<b>地域活力再生応援事業費</b> ※民間団体が実施するクラウドファンディング活用事業等への補助金 ◆実績:CF6,651,000円(酒蔵応援・花火・大曲の夜の灯・日本酒ファンディング)、 エール便21,700円(2社・31件)、タクシー713,000円(7社・73台)、 バス1,600,000円(1社・8台)	経営支援	8,985,700				8,985,700	【クラウドファンディング事業】 ①市内事業者の事業継続と雇用の維持に効果があった。 ②CF事業については、すべての事業で目標を達成することができたが、寄附の実績が事業実施の可否や規模等に大きく影響してしまうことが課題となった。 ③民間投資を喚起するこうした取組は、経済回復フェーズにおいても有効であると考えられることから、他の支援金やコロナ禍の動向を注視しつつ、必要に応じて同様の事業実施を検討する。  【エール便事業ほか】 ①エール便は利用実績が少なかった。タクシー車両感染拡大防止事業は事業者が感染防止対策の補助として有効に活用された。バス事業者維持感染対策事業は事業の継続に効果があった。 ②エール便はテイクアウトを利用する家庭が少なかったことから、お店と消費者のマッチング不足が考えられる。 ③エール便、交通事業者への補助は単年度事業として終了する。	
4	まちづくり課	2	1	11	33	<b>地域交通対策事業費</b> ※75歳以上に1万円分(通常分2,500円+コロナ対策分7,500円)の公共交通利用券交付 ◆実績:75歳以上交付者数8,608人、免許返納者数899人(38,033,400円) ※実績は2月利用分まで	生活支援	40,101,804				40,101,804	①新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大幅に減少している公共交通の利用促進、及び外出機会が減少している高齢者等交通弱者への移動支援かつ経済支援を目的とし、利用率は59%となったことから、十分に目的を達成した。 ②助成券を紙で配布したことにより、事務作業が煩雑であったことから、電子化など作業の効率化を検討する必要がある。 ③さらに事業の効果を検証し、継続していく。	
5	ICT推進課	2	1	13	17	<b>テレワーク環境整備事業費</b> ◆実績:サーバー等導入費3,693,800円、セキュリティ構築委託費2,112,000円	感染症対策	5,805,800				5,805,800	①セキュリティが確保された基盤を整備し、在宅からパソコンを使った業務が可能となり一定の効果があった。 ②使用する端末の効率的な管理運用と、セキュリティを確保するための機器等の定期的な保守が必要となった。 ③新しい生活様式や働き方改革に沿ったテレワークの増加が想定されるため、引き続きセキュリティが確保された情報通信環境の整備を目指す。	
6	総合防災課	2	1	16	12	<b>新型コロナウイルス感染症対策事業費</b> ◆実績:消毒関連物資等14,947,183円、避難所テント5,445,000円、 行政協力員報償費1,962,092円	感染症対策	22,354,275			878,900	21,475,375	①市施設の感染防止対策に大きな効果があった。 ②収束が見通せない状況にありマスク・消毒液等の更なる備蓄について検討する必要がある。 ③新たな感染防止対策が次々と開発されていることから効果的なものについて導入を検討し更なる感染防止につなげていく。	
7	企業商工課	2	1	53	90	<b>新型コロナウイルス対策緊急融資基金積立金</b> ※コロナ関連特別融資資金貸付に係る利子補給金及び信用保証補給金の基金積立(R3~R7分) ◆実績:緊急対策分28,042,000千円 (利子補給10,633,000円、信用保証料17,409,000円) 緊急小口分64,737,000円 (利子補給42,641,000円、信用保証料22,096,000円)	経営支援	92,779,000				92,779,000	①市内事業者の事業継続に効果があった。 ②令和3年度から基金を取り崩し、保証料及び利子補給に充当していくため、関係機関とともに借入残高を管理する必要がある。 ③今後も市内経済動向を注視していく。	
8	市民課	2	3	1	53	<b>マイナンバーカード普及促進事業費</b> ※2月末までのカード所有者、及び新規取得者を対象に3千円分の地域商品券を交付 ◆実績:交付者数21,569名・64,707,000円、換金額62,936,000円	生活支援	73,339,431	1,182,000			57,024,431	15,133,000	①21,569人に地域商品券3,000円分を給付し、商品券の換金率は約97%となり、市内店舗での消費活性化につながった。なお、マイナンバーカードの交付率が令和3年2月末時点で人口比率の約28%となり、普及促進にもつながった。 ②交付率が人口比で3割に満たない状況となっているため、申請しやすい環境整備やマイナンバーカードの利活用の幅を広げる必要がある。 ③今後も交付率向上に向けた取組やマイナンバーカードの利活用を検討していく。

【地方創生臨時交付金活用事業】

「単位：円」

NO.	所管課	款	項	目	事業	事業名称及び事業概要	区分	執行額	財源				①事業の評価 ②事業の課題 ③今後の方向性
									国県補助金	地方創生臨時交付金	その他	一般財源	
9	社会福祉課	3	1	2	85	在宅重度障がい者(児)介護世帯への支援事業費 ※特別障害者手当、障害児福祉手当、特別児童扶養手当受給者に対する特別給付金(5万円/人、2人目以降3万円加算)*2回 ◆実績:給付金45,460,000円(第1弾441世帯、第2弾443世帯)+事務費90,029円	生活支援	45,550,029		45,550,029			①重度障がい者のいる世帯へ支援金を給付することにより生活支援に効果があった。 ②手当受給者への乗せ給付であるが、効果は一時的なものになる。 ③重度障がい者のいる世帯への経済支援が図られたが、今後も支援を必要とする様々な要因が出てくることが予想されるため、情勢に合わせた迅速な対応を図っていく。
10	高齢者包括支援センター	3	1	6	14	在宅高齢者等介護世帯への支援事業費 ※要介護3以上の高齢者を在宅で介護する市民税非課税及び均等割のみ課税世帯に対する特別給付金(5万円/人、2人目以降3万円加算)*2回 ◆実績:給付金22,970,000円(第1弾238世帯、第2弾216世帯)+事務費197,915円	生活支援	23,167,915		23,167,915			①在宅高齢者等介護世帯への支援に効果があった。 ②今後も、感染症等の影響による在宅介護世帯の負担増に注視しながら支援を検討する必要がある。 ③感染症等の影響を鑑みながら今後の事業実施を検討する。
11	子ども支援課	3	2	1	31	新生児特別定額給付金事業費 ※国特別定額給付金の支給基準日(R2.4/27)以降からR3.3/31までの新生児に10万円給付 ◆実績:対象新生児349人のうち、4月給付(一般財源)13人	生活支援	35,175,891		33,875,891	1,300,000		①子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 ②新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、子育て世帯の経済的負担の軽減のため継続的な支援の検討が必要である。 ③新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、事業実施を検討していく。
12	子ども支援課	3	2	1	95	子育て支援地域商品券給付事業費 ※18歳以下の(基準日R2.5.1)一人につき2万円地域商品券を給付(児扶手当受給者に加算あり) ◆実績:商品券発行総額206,000,000円(予算207,640,000円) 換金済額204,436,000円、換金率99.24%(未換金額1,564,000円) ※4/1以降の換金額10,460,000円	生活支援	212,667,774		194,243,774	18,424,000		①子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 ②新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、子育て世帯の経済的負担の軽減のため継続的な支援の検討が必要である。 ③新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、事業実施を検討していく。
13	健康増進センター	4	1	2	17	妊産婦健診等タクシー利用助成事業費 ※妊産婦の感染症リスクの低下を図るため、タクシー利用券(1万円相当)を交付 ◆実績:交付者数378名、利用者数223人、使用枚数681枚	生活支援	1,008,180		904,180	104,000		①利用者数(実績値)107人、利用率28.3%となり、タクシーを利用した妊産婦の感染リスクを低下させる効果があった。 ②市街地での利用が多く、居住地によってタクシー会社の数や生活圏が異なることなど、使用割合に偏りがあった。 ③利用が少なかったこと、事業継続の要望もなかったことから事業を終了する。
14	健康増進センター	4	1	4	18	インフルエンザ予防接種助成事業費 ※全市民を対象としたインフルエンザ予防接種費の2,000円補助(76歳以上は無料) ◆実績(接種率):65歳以上67.4%、乳児～小学生72.7%、中学生～64歳以下46.6%	生活支援	116,905,127		116,905,127			①接種率が前年度比で65歳以上1.24倍、乳児～高校生・妊婦1.1倍となり、季節性インフルエンザの流行はみられなかった。 ②助成対象が拡大したことで、ワクチン不足が生じ、希望者が接種できない状況があった。 ③重症化リスクの高い、65歳以上(定期接種)と生後6か月～高校生相当及び妊婦(任意接種)の接種費用について千円を助成する。
15	健康増進センター	4	1	5	13	健幸まちづくり推進事業費 ※市民参加型(18歳以上の市民及び市内企業に勤務する者を対象)の健康管理システム活用経費(会計年度任用職員1名、健幸スポット設置補助金、必要備品等)	生活支援	15,547,573		15,547,573			①市民及び市内事業所従業員の健康の保持・増進に効果があった。 ②参加者が「活動量計」と「健幸スポット」を継続して活用するよう、健幸ポイントによるインセンティブの設定等の切れ目ない取組が必要である。 ③参加者の拡大と健康づくりの継続を図るとともに、他の事業やイベント等と連携をしながら、より広く市民・企業の関心を高めていく。
16	企業商工課	5	1	4	63	緊急雇用助成金 ※感染症の影響により解雇された市民を一年以上常用雇用する事業所に対し50万円交付 ◆実績:1社(株式会社協伸精鋼)	経営支援	500,000		500,000			①市内事業所の雇用継続に効果があった。 ②国の雇用調整助成金特例措置が段階的に縮小される方向であるため、縮小後も市内事業所の雇用維持を図る必要がある。 ③令和3年度も引き続き事業を実施する。
17	農業振興課	6	1	3	80	農業経営力強化緊急支援事業費 ※農業用機械や設備等の導入補助の前倒し分(市補助率は現行どおり) ◆実績:農業用機械設備導入25件、46,213,000円(うち市費7,987,000円) 家畜導入22件、43,697,000円(うち市費11,350,000円)	経営支援	89,910,000	70,573,000	19,337,000			①水稲以外の作物振興を支援することにより、複合経営による農業経営の安定が図られた。 ②新型コロナウイルスの影響により農業者の収益力の低下が懸念される中、経営力強化につながる取組が必要である。 ③既存の県補助事業等を活用しながら、農業経営に必要な支援に取り組んで行く。
18	企業商工課	7	1	2	69	新型コロナウイルス感染症対策資金関連事業費 ※マル仙特別融資枠の創設に伴う信用保証料及び利子補給金、融資預託金 ◆実績:利子補給額2,039,951円、信用保証料補給金3,486,752円	経営支援	205,526,703		5,526,703	200,000,000		①感染拡大初期に制度化し、市内事業者の事業継続に効果があった。 ②令和2年度で事業は終了したが、今後の市内経済状況によっては、中小企業融資あっせん制度の改正を検討する必要がある。 ③今後も市内経済動向を注視していく。

【地方創生臨時交付金活用事業】

「単位：円」

NO.	所管課	款	項	目	事業	事業名称及び事業概要	区分	執行額	財源				①事業の評価 ②事業の課題 ③今後の方向性
									国県補助金	地方創生臨時交付金	その他	一般財源	
19	企業商工課	7	1	2	71	<b>経営維持特別小口融資関連事業費</b> ※市独自の特別小口融資枠（300万円）の創設に伴う信用保証料及び利子補給金 ◆実績：利子補給額5,054,583円、信用保証料補給金2,533,936円	経営支援	7,588,519		7,588,519			①融資限度額を300万円に設定したことにより、事業者も利用しやすく、市内事業者の事業継続に効果があった。 ②コロナの影響が長引いているため、3年度も事業継続を検討する必要がある。 ③今後も市内経済動向を注視していく。
20	企業商工課	7	1	2	72	<b>大仙エール飯スタートアップ事業費</b> ※テイクアウト販売に取り組む事業所への補助金（5万円*150） ◆実績：87事業所	経営支援	4,159,000		4,159,000			①感染拡大の影響を受け、売上が激減した飲食店に対し、素早く支援策を講じ、売上げの回復を支えた。 ②令和2年度で事業は終了したが、アフターコロナを見据え消費者の購買意欲を高めるような仕組みづくりをした飲食店に対し、支援制度を検討する必要がある。 ③令和3年度も引き続き、飲食店への支援制度を検討する必要がある。
21	企業商工課	7	1	2	73	<b>飲食店プライベートチケット支援事業費</b> ※飲食店の先払いチケット販売に係る補助金 ◆実績：2団体（大曲商工会議所、大仙市商工会）	経営支援	327,019		327,019			①感染拡大の影響を受け、売上が激減した飲食店に対し、素早く支援策を講じ、売上げの回復を支えた。 ②令和2年度で事業は終了したが、飲食店の経営状況に回復の兆しが見られないことから、今後も支援を検討する必要がある。 ③令和3年度も引き続き、飲食店への支援制度を検討する必要がある。
22	企業商工課 観光課	7	1	2	74	<b>経営再興支援事業費</b> ●テナント事業者等支援事業 ◆実績：42,740,000円(280件)+事務費439,210円 ※市内に事業所を有しテナント家賃を支払う事業者に対する家賃補助（月支払家賃*1/3*6ヶ月の最大20万円、複数事業所を有する場合は最大40万円） ●自動車運転代行業者支援事業 ◆実績：1,300,000円(17業者) ※自動車運転代行業者の車両維持に係る経費の補正（5万円/台） ●宿泊業等支援事業 ※宿泊業及び大規模ホール・宴会設備を有する事業者への助成（10～100万円補助） ◆実績37,868,027円(第1弾19,500,000円(30施設)+第2弾18,368,027円(26施設)) ●酒蔵支援事業 ※市内9酒蔵へ経営支援金(100万円補助) ◆実績：9,000,000円(9酒蔵)	経営支援	91,347,237		91,347,237			①飲食業・宿泊業及び関連業者に支援することで経営維持が図られた。 ②事業収入が未だに回復しないことから、業務形態の変化に対応できる支援を行う必要がある。 ③令和3年度も引き続き、売上げが回復しない業種に対し、支援を検討する必要がある。
23	企業商工課	7	1	2	75	<b>プレミアム付地域商品券発行事業費</b> ※全世帯を対象としたプレミアム率50%の地域商品券の発行（3万円商品券を2万円で購入） ◆実績：販売額620,535,000円(うちプレミアム分206,845,000円)販売率66.72% 換金額617,610,000円(うちプレミアム分205,870,000円)換金率99.53% ※4/1以降換金額31,831,000円(未換金額2,925,000円)	生活支援	249,522,360		217,691,360	23,171,960	8,659,040	①市内全世帯を対象としたプレミアム付地域商品券を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内における消費喚起を図り、地域経済の発展と商業振興を図ることができた。 ②購入対象を全世帯としたため、公平性は保たれた一方で、商品券発行数に対する販売率が約7割にとどまり、当初想定していた最大限の効果を発揮できなかった。 ③経済対策として効果的な時期、規模を勘案しながら事業展開を検討していく。
24	企業商工課	7	1	2	76	<b>飲食店応援給付金事業費</b> ※市内飲食業者に対する給付金（10万円/店舗）*2回 ◆実績：第1弾39,000千円(374件)+第2弾38,800千円(372件)	経営支援	78,120,709		78,092,783		27,926	①感染拡大の影響で、経営環境が厳しい飲食店に対し、迅速に給付金を支援したことにより、事業継続が図られた。 ②影響が長引いており、飲食店への客足が戻らず、コロナ以前の売上額まで回復が見込めない。 ③令和3年度も引き続き、飲食店への支援制度を検討する必要がある。
25	企業商工課	7	1	2	80	<b>経営維持臨時給付金事業費</b> ※R2.2月～12月いずれか1ヶ月の売上が前年度比20%以上50%未満の事業所へ20万円給付 ◆実績：126,720,000円(624件)+事務費785,909円	経営支援	127,505,909		112,064,864		15,441,045	①国の持続化給付金を補填する形で支援を行い、経営維持につながった。 ②事業収入が未だに回復しないことから、業務形態の変化に対応できる支援を行う必要がある。 ③令和3年度も引き続き、売上げが回復しない業種に対し、支援を検討する必要がある。
26	観光課	7	1	4	68	<b>観光施設等経営支援事業費</b> ※温泉及び道の駅の休業補償費（4/24～5/10）	経営支援	7,653,000				7,653,000	①市温泉施設及び道の駅の経営支援に効果があった。 ②休業による経営への影響に注視しながら影響額の算定をする必要がある。 ③休業による経営への影響は大きいことから、休業要請を行う際は、経営支援を検討していく。
27	観光課	7	1	4	71	<b>花火産業構想支援事業費</b> ◆実績：メッセージ花火15,000,000円、プライベート花火10,000,000円、秋の章6,000,000円、冬の章2,500,000円	経営支援	33,500,000		20,000,000	5,000,000	8,500,000	①「大曲の花火」の伝統文化継承、地域経済の下支えに効果があった。 ②新型コロナウイルス感染症の状況により、その都度感染症対策と地域経済のバランスを考慮しながら実施する必要がある。 ③本事業は緊急的状況に対応するために実施したものであり、今後の実施予定はない。
28	観光課	7	1	4	72	<b>体験型修学旅行誘致事業費</b> ※隣県中学校の修学旅行誘致及び修学旅行体験メニュー経費 ◆実績：1校(青森山田中)	経営支援	4,303,101		4,303,101			①5校の申し込みが感染状況により1校のみの実施となった。参加者からは一定の評価を得た。 ②1校のみでは実証事業としての実績が少ない。 ③感染状況を注視しながら、募集要項を見直し、複数校の受け入れを目指す。

【地方創生臨時交付金活用事業】

「単位：円」

NO.	所管課	款	項	目	事業	事業名称及び事業概要	区分	執行額	財源				①事業の評価 ②事業の課題 ③今後の方向性
									国県補助金	地方創生臨時交付金	その他	一般財源	
29	観光課	7	1	4	73	<b>指定管理施設等経営支援事業費</b> ※市有温泉(4施設)、道の駅(2施設)等(太田GG・観光情報センター)の指定管理者への経営支援補助金 ◆実績:35,250,000円(2月～6月分)、34,000,000円(7月～1月分)	経営支援	69,250,000		69,250,000			①市温泉施設及び道の駅等の経営支援に効果があった。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入減少に注視しながら補助金の支給を検討する必要がある。 ③関連する他の支援策の状況を見ながら、経営支援の必要性を検討していく。
30	教育総務課	10	1	4	25	<b>大仙市学生支援事業費</b> ※大仙市出身学生への給付金(5万円)特産品の贈呈(親元を離れ生活する県内学生を対象拡充) ◆実績:給付57,550,000円(県外1,063人、県内88人)、特産品6,453,213円	生活支援	64,135,213		64,135,213			①学生の生活安定に効果があった。 ②本人からの申請が必要なことから、周知方法について検討する必要がある。 ③社会経済情勢を注視しながら、今後の事業実施を検討する。
31	教育指導課	10	1	4	26	<b>小中学生エール花火事業費</b> ◆実績:32校(20箇所)*2,000,000円(大曲花火協同組合へ委託)、事務費999,000円	経営支援	64,999,000		64,999,000			①花火を間近で鑑賞し、感動とともにふるさとの良さを再確認できた。地元花火業者への経営支援にもつながった。 ②感染対策を踏まえたうえでの事業実施について検討する必要がある。 ③令和2年度限りの事業のため、今後の実施予定はない。
32	教育総務課	10	1	4	27	<b>大仙市学生(高校3年生等)支援事業費</b> ※市内高校3年生の「新たな生活様式」支援としての給付金 (@660人*5万円/人) ◆実績:給付31,050,000円(621人)+事務費14,982円	生活支援	31,064,982		31,064,982			①高校生等を持つ保護者等の経済的負担軽減に効果があった。 ②保護者等からの申請が必要なことから、周知方法について検討する必要がある。 ③社会経済情勢を注視しながら、今後の事業実施を検討する。
33	教育指導課	10	2	2	20	<b>修学旅行キャンセル料支援事業費</b> ※市内小中学校の修学旅行等キャンセル時の保護者へのキャンセル料相当額の補助 ◆実績:小学校17校(19件)、中学校6校(9件)	生活支援	3,047,111		3,047,111			①保護者の経済的負担の軽減につながった。 ②修学旅行実施の目安等を検討し、修学旅行が適正に実施されるようにする。 ③新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、同様の補助を検討する。
		10	3	2	28			4,151,688		4,151,688			
34	教育総務課	10	2	2	23	<b>GIGAスクール構想推進事業費</b> ◆実績:端末224,851,000円、充電保管庫42,134,400円、ネットワーク整備23,962,499円、貸出用WiFiルーター購入4,847,700円、マイク・カメラ購入1,268,960円、GIGAスクールポータル端末等16,533,000円	感染症対策	200,450,779	105,387,000	95,063,779			①ICT教育の推進および感染症などに対応する遠隔授業の実現などを可能にした。 ②機器の経年劣化に対応する更新計画を策定する必要がある。 ③ICT機器の日常的な活用に大きな効果があったと考えられ、次世代型教育の確立を目標とし、事業を継続していく。
		10	3	2	27			113,970,693	58,202,000	55,768,693			
35	教育総務課	10	3	1	21	<b>中学校空調設備整備事業費</b> ※市内10中学校(普通教室99室)へのエアコン設置費 ◆実績:実施設計費6,930,000円 ■繰越明許費:工事及び監理費275,774,000円	感染症対策	255,662,000	60,410,000	110,356,000	84,100,000	796,000	①夏場の暑い時期も支障なく授業を行う事ができ熱中症予防などの効果があった。 ②99室分のエアコンが耐用年数を迎えた際の、メンテナンスや交換について検討する必要がある。 ③今後もメンテナンスを適切に行い、夏の授業に支障が出ないように努める。
36	総合図書館	10	5	4	14	<b>児童書購入事業費</b> ※小中学校30校、保育所28施設、子育て拠点3施設への児童図書(絵本、紙芝居、図鑑等)購入 ◆実績:小中学校30校(10万円以内)、保育所28施設(5万円以内)、子育て拠点施設3施設(3万円以内)	感染症対策	4,440,349		4,440,349			①コロナ禍においても、学校や保育所等、子ども達に身近な場所の読書環境を充実させることができた。 ②子ども達が本に触れ合う機会を増やすため、今後も身近に本がある読書環境の整備に努めていく必要がある。 ③配置した図書の整理や整備など、市立図書館と学校図書館が連携して読書環境の整備に取り組んでいく。
37	生涯学習課	10	5	5	24	<b>ペアーレ大仙管理費</b> ※ペアーレ休業補償費	経営支援	1,231,708				1,231,708	①ペアーレ大仙の経営支援に効果があった。 ②休業による経営への影響に注視しながら影響額を算定をする必要がある。 ③休業による経営への影響は大きいことから、休業要請を行う際は、経営支援を検討していく。
38	生涯学習課	10	5	5	26	<b>生涯学習指定管理施設支援事業費</b> ※ペアーレ大仙、八乙女交流センターの指定管理者に対する経営支援補助金 ペアーレはR2.5月～R3.1月、八乙女交流センターはR2.4月～R3.1月の収入減少額を対象 ◆実績:ペアーレ大仙4,500,000円、八乙女交流センター1,000,000円	経営支援	5,500,000		5,500,000			①ペアーレ大仙、八乙女交流センターの経営支援に効果があった。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入減少に注視しながら補助金の支給を検討する必要がある。 ③関連する他の支援策の状況を見ながら、経営支援の必要性を検討していく。
事業実績 合計								2,413,561,785	295,754,000	1,725,081,000	313,150,860	79,575,925	

	実績額	臨時交付金
感染症対策	602,683,896	292,909,996
生活支援	917,691,284	847,411,078
経営支援	893,186,605	584,759,926